

2023年6月13日
株式会社タカショーデジテック

タカショーデジテックが CLEAN BEACH PROJECT2023 in 片男波海水浴場を実施

株式会社タカショーデジテック（本社：和歌山県海南市 代表取締役社長：古澤良祐）のサステナブル推進室と環境委員会は2023年6月10日（土）に和歌山市の片男波海水浴場でビーチクリーン活動を実施し、従業員とその家族合わせて40名弱が参加いたしました。



5月30日「ごみゼロの日」、6月5日「環境の日」、6月8日「世界海洋デー」の3つの記念日を含む期間が「春の海ごみゼロウィーク」として設定されており、全国一斉清掃キャンペーンが実施されています。海に流出するごみの約8割は「陸・街」由来とされ、一度海に流出したごみを回収することは困難となります。本取り組みは、エコ・ファースト認定企業の一員として、従業員の海洋ごみ問題の周知啓発とともに、海洋ごみの流出を少しでも防ぐことを目的としています。

大雨の影響で多くのゴミが打ち上げられた砂浜

先日6月2日の大雨の影響もあり、流木やペットボトルなど多くのゴミが打ち上げられていた片男波海水浴場。ゴミ袋と火ばさみを手に拾い集めました。



ゲーム感覚で海洋ゴミについて学ぶ「海ごみビンゴシート」

2～4人のチームに分かれビンゴシートにこれから拾うゴミを事前に記入し、予想したゴミが含まれていたかをチェック。5ラインのビンゴが成立したチームも。



実際に使用したビンゴシート（一部）

「海ごみビンゴシート」で予想していた海洋ゴミと実際拾ったゴミの認識のギャップを学ぶことができました。

集めたゴミはペットボトル、カン、ビンに分別

集めたゴミは処分しやすいよう、自治体の分別に基づきペットボトル、カン、ビンにきちんと分別。



参加者の感想

- 浜辺に打ち上げられるゴミは思ったよりも多く、プラスチックごみ問題は深刻化していることを学びました。
- ゴミの種類から分析ができ、現状を知れるということ。
- 海洋ゴミとして漂着するものの種類や量、流れ着く背景などがわかった。

など

タカショーデジテックはこれからも和歌山県の企業として、エコ・ファースト認定企業の一員として、環境活動に取り組んでまいります。

<<株式会社タカショーデジテック 会社概要>>

◆本社所在地 : 〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂 20-1

◆事業内容 : 1. LED を使用した大型サインから銘板の開発・企画・製造・販売
2. 商業施設におけるサイン・照明の開発・企画・製造・販売
3. エクステリア・ガーデニングにおける照明の開発・企画・製造・販売
4. 寝装品、インテリア商品（カーペット・クッション・カーテン・テーブルクロス等）のデザイン及び販売

◆ビジョン : 光の演出で人の心を彩る。光を通して人の心に感動や安らぎを与えることを経営理念として掲げており、行動指針として、今ある光の入れ替えでは無く、今暗いところに光を灯す”光”の演出、特に LED 照明によって新たな価値を創造する事を標榜する。

◆ホームページ : <https://takasho-digitec.jp/>

取材対応も可能です。お問い合わせは下記までお願いいたします。



■取材・掲載に関するお問い合わせ先
株式会社タカショーデジテック

Tel: 073-484-3618

Fax: 073-484-3619

E-mail: info@takasho-digitec.jp